

## 決 議 案 提 出 書

パレスチナ自治区ガザ地区における人道的対応及び  
停戦を求める決議案

上記決議案を神奈川県議会会議規則第12条の規定により、次のとおり  
提出します。

令和 5 年 1 2 月 1 5 日

神奈川県議会議長 加 藤 元 弥 殿

神奈川県議会議員	田 中 徳一郎
同	谷口 かずふみ
同	永 井 真 人
同	ま す 晴太郎
同	菅原 あきひと
同	松 川 正二郎
同	新 堀 史 明
同	柳 下 剛
同	赤 野 たかし
同	森 正 明
同	近 藤 大 輔
同	松 田 良 昭
同	松 崎 淳

パレスチナ自治区ガザ地区における人道的対応及び  
停戦を求める決議（案）

本年10月7日のイスラム組織ハマスによるイスラエルへの攻撃を端緒としたハマスとイスラエル軍の戦闘により、多くの民間人が犠牲となっている。

この紛争では、イスラエル軍の攻撃により子供たちを含む多数の民間人が死傷しているほか、ハマスにより罪のない人々が多数人質として拘束されている。

こうした事態を受け、先進7か国（G7）外相は、11月8日、ガザ地区の人道的危機に対処するため、戦闘の人道的休止や人質の即時解放などを支持する共同声明を発表したほか、国連安全保障理事会においても、11月15日に緊急会合を開き、戦闘の人道的休止や人質の解放などを要請する決議を採択した。

また、12月12日、国連総会の緊急特別会合において、人道目的の即時停戦を求める決議が採択されている。

このような国際社会による事態の收拾に向けた努力は続けられているが、依然として戦闘状態は続いており、状況は不透明である。

今後とも、国際社会は協調して、国際法に基づく人道的な処遇と安全を保障するための取組を続けていく必要がある。

神奈川県議会は、国際法に基づく人道的危機の改善に向けた、より一層の取組及び人道目的による停戦を強く求める。

以上のとおり決議する。

令和 年 月 日

神奈川県議会